

ディーゴ ガイド



2026.7.27-8.2

But **grow** in the grace and knowledge of our Lord and Savior Jesus Christ. To him be glory both now and forever! Amen. II Peter 3:18

L T G ガイド

- ①お互いへの感謝と誉めることを分かち合しましょう。(1〜3つ)
- ②1週間の罪を言い表して悔い改め、互いに祈りましょう。
- ③礼拝メッセージの分かち合いをします。
礼拝メッセージの分かち合いが難しい場合はディボーションの分かち合い(なるべく短く)
- ④預言の祈り(主の御心を宣言して祈り)をします。

L T G Guide

セル ガイド

- ①祈り、賛美によって主がここにいてくださることを信じ、聖霊様をあげます。
- ②互いの存在を感謝し、尊敬するところを分かち合しましょう。
- ③ディボーションの分かち合いをします。
- ④セルの目的と働きについてみなで共有して、祈り、遣わされて行きましょう。

家族礼拝ガイド

年長のクリスチャンがリードしてください。進め方にはいろいろな意見が出るかもしれませんが、「主に期待する」信仰が最も大切です。いつもの家族でいいのです。

- ①この1週間で神様はすばらしいと感じたのはどんなこと?
- ②この1週間でお互いにどんなことを感謝しますか?(または誉めたいですか?) 1つだけ。
- ③聖書のみことばから、どんな実践をして、またどんな恵みがありましたか?
- ④互いの必要のために祈りましょう。

Cell Group Guide

礼拝メッセージフィードバック

＜今日の聖書箇所は…＞

①神のみこころは?(信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちなど)

②どんな思いになりましたか?(感情や願いなど)

③生き方にどう適用しますか?(あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか)

④この世にあって何を実践しますか?

Family Worship

32:1 第十二年の第十二の月の一、私に次のような【主】のことばがあった。

32:2 「人の子よ。エジプトの王ファラオについて哀歌を唱えて彼に言え。『あなたは自分を国々の若獅子だと思っている。しかし、あなたは大海の巨獣のようだ。川の中で暴れ回り、足で水をかき混ぜ、その豊かな流れを濁らせる。』

32:3 ——【神】である主はこう言われる——わたしは、多くの民族の群れを集め、あなたの上にわたしの網を広げる。彼らはあなたを地引き網で引き上げる。

32:4 わたしはあなたを地に投げ捨て、野に降り出す。空のあらゆる鳥をあなたの上に舞い降りさせ、全地の獣をあなたで満腹させる。

32:5 あなたの肉を山々にまき散らし、あなたの屍で谷を満たし、

32:6 その地を、あなたからあふれ流れる血で、山々に至るまで潤す。谷川もあなたの血で満たされる。

32:7 あなたが吹き消されるとき、わたしは空をおおい、星を暗くする。太陽を雲でおおい、月が光を放たないようにする。

32:8 わたしは空に輝くすべての光をあなたの上で暗くし、あなたの地を闇でおおう。——

【神】である主のことば——

32:9 わたしが諸国の間で、あなたの知らない国々にあなたの破滅の知らせをもたらすとき、わたしは多くの国々の民の心を苛立たせる。

32:10 わたしは多くの国々の民をあなたのこととで茫然とさせる。彼らの王たちも、わたしが彼らの前でわたしの剣を振りかざすとき、あなたのことでおぞ氣立つ。あなたが崩れ落

ちる日に、彼らはみな自分のいのちを思い、その震えは止まらない。

32:11 まことに、【神】である主はこう言う。バビロンの王の剣があなたに下る。

32:12 わたしは、勇士の剣であなたの大軍を倒す。彼らはみな最も横暴な異邦の民だ。彼らはエジプトの誇りを踏みにじり、その大軍はみな滅ぼし尽くされる。

32:13 わたしはあらゆる家畜を、豊かな水のほとりから消し去る。人の足は二度とこれを濁さず、家畜のひづめもこれを濁さない。

32:14 そのとき、わたしはこの水を澄ませ、その川を油のように流れさせる。——

【神】である主のことば——

32:15 わたしがエジプトの地に荒廃をもたらし、わたしがその全住民を打ち、その地がそこに満ちるすべてを失って荒れ果てるとき、彼らは、わたしが【主】であることを知る。』

32:16 これは、人々が悲しんで歌う哀歌である。国々の娘たちはこれを悲しんで歌う。エジプトとその大軍すべてのために、彼女たちはこの哀歌を悲しんで歌う——【神】である主のことば。」

栄華を極めたエジプトも滅ぼされます。イスラエルから見たらエジプトは大きな強国で、ときには神の力よりも影響力を持っているように感じることがあり、神よりもエジプトに頼ることもありました。しかし、この世のどんな権力も神には及ぶことはありません。

私たちも神様に頼るよりも、人や権威やお金に頼りたくなることもあるかも知れません。しかし、それらは神の前には無力であることを忘れてはなりません。エジプトもバビロンに倒されてしまい、その背後には神様の大きなご計画があったのです。自分の人生に本当の喜びを与えるものは何なの

か、解決を本当に与えるものは何なのか…。よく考えましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（気持や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



28日 火曜

エゼキエル



32:17 第十二年の、その月の十五日、私に次のような【主】のことばがあった。

32:18 「人の子よ、エジプトの大軍のために嘆け。その民と力強い国々の娘たちを、穴に下る者たちとともに地下の国に下らせよ。

32:19 『あなたは麗しき点でだれよりもまざっているというのか。下って行って、無割礼の者たちとともに横たわれ。』

32:20 彼らは、剣で刺し殺された者たちの間に倒れる。その国は剣に渡された。その国とその大軍すべてを引きずり降ろせ。

32:21 勇敢な勇士たちは、国を助けた者たちとともに、よみの中から彼について語る。

『彼らは下って来て、剣で刺し殺された者、無割礼の者たちとともに横たわった』と。

32:22 そこにはアッシリアとその全集団がいる。周りには彼らの墓があり、みな、刺し殺された者、剣に倒れた者である。

32:23 アッシリアの墓は穴の奥の方にあり、その集団はその墓の周りにいる。彼らはみな、刺し殺された者、剣に倒れた者で、生ける者の地に恐怖をもたらした者たちである。

32:24 エラムとその大軍がその墓の周りにいる。彼らはみな、刺し殺された者、剣に倒れた者で、無割礼のまま地下の国に下った者、生ける者の地に恐怖をもたらした者たちで、穴に下る者とともに自らの恥辱を負っている。

32:25 その寝床は刺し殺された者たちの間に置かれ、その大軍すべてもその墓の周りにいる。みな、無割礼の者、剣で刺し殺された者である。彼らの恐怖が、生ける者の地にあり、穴に下る者とともに自らの恥辱を負っている。彼らは刺し殺された者たちの間に置かれる。

32:26 そこにはメシェクとトバルがおり、その大軍のすべてもその墓の周りにいる。みな、無割礼の者、剣で刺し殺された者で、生ける者の地に恐怖をもたらしたからである。

32:27 無割礼の者として倒れた勇士たちとともに彼らは横たわることはできない。勇士たちは武具を持ってよみに下り、剣は頭の下に置かれている。咎が彼らの骨の上にある。勇士たちのもたらした恐怖が、生ける者の地にあったからである。

32:28 しかしあなたは、無割礼の者たちの間で碎かれ、剣で刺し殺された者たちとともに横たわる。

32:29 そこにはエドムとその王たち、そのすべての族長たちがいる。彼らは、その勇敢さにもかかわらず、剣で刺し殺された者たちとともに、無割礼の者たち、および穴に下る者たちとともに横たわる。

32:30 そこには北のすべての君主たち、すべてのシドン人がいる。彼らの勇敢さは恐怖をもたらしたが、恥を見、刺し殺された者たちとともに下ったのである。それで無割礼の彼らは、剣で刺し殺された者たちとともに横たわり、穴に下る者たちとともに自分たちの恥辱を負っている。

32:31 ファラオは彼らを見て、剣で刺し殺された自分の大軍、ファラオとその全軍勢のことで慰められる——【神】である主のことば——。

32:32 わたしが生ける者の地に恐怖をもたらしたので、ファラオとその大軍は、無割礼の者たちの間で、剣で刺し殺された者たちとともに横たわる——【神】である主のことば。』

「生ける者の地に恐怖をもたらした」エジプトとその軍勢は、結局神の前では「よみに下る」しかなく、「恥辱を負っている」状態です。神以外のものを恐れても、それらは神の前には弱いちりのような存在に過ぎないのです。

神以外のものを恐れないように、本当の勇氣を持って決断・行動しましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（気持や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



29日 水曜

エゼキエル



33:1 次のような【主】のことが私にあった。

33:2 「人の子よ、あなたの民の者たちにこう告げよ。『わたしがある地に剣をもたらすとき、その国の民は自分たちの中から一人を取り、自分たちの見張りとする。』」

33:3 さて、その人が、剣がその地に来るのを見て角笛を吹き鳴らし、民に警告を与えた場合、

33:4 角笛の音を聞いた者が警告を聞き入れないなら、剣が来てその者を討ち取るときに、その血の責任はその者の頭上にある。

33:5 角笛の音を聞きながら警告を聞き入れなければ、その血の責任は彼自身にある。しかし、警告を聞き入れていれば、その者は自分のいのちを救う。

33:6 しかし、見張りが、剣の来るのを見ながら角笛を吹き鳴らさず、そのため民が警告されず、剣が来て彼らの中の一人を討ち取った場合、その者は自分の咎のゆえに討ち取られるが、わたしはその血の責任を見張りに問う。』

33:7 人の子よ、わたしはあなたをイスラエルの家の見張りとした。あなたは、わたしの口からことばを聞くとき、わたしに代わって彼らに警告を与えよ。

33:8 わたしが悪しき者に『悪しき者よ、あなたは必ず死ぬ』と言うとき、もし、あなたがその悪しき者に、その道から離れるように警告しないなら、その悪しき者は自分の咎のゆえに死ぬ。そして、わたしは彼の血の責任をあなたに問う。

33:9 あなたが、悪しき者にその道から立ち返

るよう警告しても、彼がその道から立ち返らないなら、彼は自分の咎のゆえに死ななければならない。しかし、あなたは自分のいのちを救うことになる。

私たちは神様の御心を告げる責任があります(3～6節)。また、悔い改めるなら赦されます(14～16節)。しかし、そのことを伝えなければ、滅びの責任を問われることになるのです。もちろん告げられても、それに従わなければ、その責任は従わなかった人にあります。

それはそのまま福音の伝道にあてはまるものです。伝道してもその人が否定するなら、それは本人に責任があるのです。ある意味気が楽かもしれません。伝えるなら私たちの責任は果たせたのです。

家族や、その他の人間関係において、さばきと赦しの十字架を伝えることを目標にして行きましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（気持や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



30日 木曜

エゼキエル



33:10 人の子よ、あなたはイスラエルの家
に言え。『あなたがたは「私たちの背きと罪
は私たちの上にのしかかり、そのため私たち
は朽ち果てた。私たちはどうして生きられよ
う」と言っている。』

33:11 彼らにこう言え。『わたしは生きてい
る——【神】である主のことば——。わたし
は決して悪しき者の死を喜ばない。悪しき者
がその道から立ち返り、生きることを喜ぶ。
立ち返れ。悪の道から立ち返れ。イスラエル
の家よ、なぜ、あなたがたは死のうとするの
か。』

33:12 人の子よ、あなたは自分の民の者たち
にこう言え。『正しい人の正しさも、その人
が背いたときには、それが彼を救うことはな
い。悪しき者も、その者がその悪から立ち返
るときには、その悪につまずき倒れることは
ない。正しい人でも、罪ある者となるとき、
自分の正しさによって生きることができない。』

33:13 わたしが正しい人に「あなたは必ず生
きる」と言っても、もし彼が自分の正しさに
抛り頼み、不正を行うなら、彼の正しい行い
は何一つ覚えられず、自分の行った不正に
よって死ななければならない。

33:14 わたしが悪しき者に「あなたは必ず死
ぬ」と言っても、もし彼が自分の罪から立ち
返り、公正と義を行い、

33:15 その悪しき者が質物を返し、かすめた
物を償い、不正を行わず、いのちの掟に従っ
て歩むなら、彼は必ず生き、死ぬことはない。

33:16 彼が犯した罪は何一つ覚えられず、公
正と義を行った彼は必ず生きる。』

33:17 あなたの民の者たちは『主の道は公正

でない』と言っている。しかし、彼らの道
こそ公正ではない。

33:18 正しい人でも、自分の正しい行いから
離れ、不正を行うなら、彼はそのことのゆ
えに死ぬ。

33:19 悪しき者でも、自分の悪から離れ、公
正と義を行うなら、そのことのゆえに彼は
生きる。

33:20 それでも、あなたがたは『主の道は公
正でない』と言う。イスラエルの家よ。わ
たしはあなたがたを、それぞれの生き方に
したがってさばく。』

「正しい人の正しさも、その人が背いたとき
には、それが彼を救うことはない。悪しき者も、そ
の者がその悪から立ち返るときには、その悪につ
まずき倒れることはない。」という、神様の真理
と愛を心に留めて忘れないようにしましょう。

これまで自分は正しく生きて来たという思いや、
主のためや教会のために、そして人のために良い
ことをしてきたという自負は、今の主の目をごま
かすことはできません。

逆に、かつて自分は悪いことをしてしまったか
ら、いつまでたっても人からも主からも認められ
ないと思いこむ必要はありません。主は今の心を
ご覧になります。そしてこれから主に違う思いが
本気かどうかを知っておられます。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の
約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（気持や願い
など）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのど
の部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



31日 金曜

エゼキエル



33:21 私たちが捕囚となって十二年目の第十の月の五日、エルサレムから逃れた者が私のもとに来て、「都は占領された」と言った。

33:22 その逃れた者が来る前の夕方に、

【主】の御手が私の上にあり、朝になって彼が私のもとに来る前に、私の口は開かれた。こうして私の口は開かれて、もはや私は黙っていなかった。

33:23 次のような【主】のことばが私にあった。

33:24 「人の子よ。イスラエルの地の廢墟に住むこれらの者たちは、『アブラハムは一人でこの地を所有した。私たちは多い。当然、この地はわれわれの所有地として与えられている』と言っている。

33:25 それゆえ、彼らに言え。『【神】である主はこう言われる。あなたがたは血がついたままで食べ、自分たちの偶像を仰ぎ見、人の血を流しているのに、この地を所有しようとするのか。』

33:26 あなたがたは自分の剣に頼み、忌み嫌うべきことをし、それぞれ隣人の妻を汚しながら、この地を所有しようとするのか。』

33:27 あなたは彼らにこう言え。『【神】である主はこう言われる。わたしは生きている。あの廢墟にいる者は必ず剣に倒れる。野にいる者も、わたしは獣に与えて、その餌食とする。要害と洞穴にいる者は疫病で死ぬ。

33:28 わたしはその地を荒れ果てさせ、荒廢した地とする。その力強い誇りは失せ、イスラエルの山々は荒れ果て、だれもそこを通らなくなる。

33:29 わたしが、彼らの行ったすべての忌み嫌うべきわざのために、その地を荒れ果てさせて荒廢した地とすると、彼らは、わたしが【主】であることを知る。』

33:30 人の子よ。あなたの民の者たちは城壁のそばや家々の戸口で、あなたについてこう語り合っている。『さあ、どんなことばが【主】から出るか聞きに行こう。』

33:31 彼らは群れをなしてあなたのもとにやって来る。そして、わたしの民はあなたの前に座り、あなたのことばを聞く。しかし、それを実行しようとはしない。彼らは口で甘いことばを語り、心で利得を追っている。

33:32 あなたは彼らにとっては、音楽に合わせて美しく歌う恋の歌のようだ。彼らはあなたのことばを聞くが、それを実行しようとはしない。

33:33 しかし、あのことは起こり、もう来ている。彼らは、自分たちの間に一人の預言者がいたことを知る。』

エルサレムが占領されたとき、すでに神様はエゼキエルを通して、捕囚からエルサレムに帰ってくる人々について明かにされました。アブラハムよりも多い自分たちがエルサレムを所有するのは当たり前であると考えていますが、主はそうではない、「剣に倒れる」と言われるのです。

また彼らは「どんなことばが主から出るか聞きに行こう。」と言いますが、「それを実行しようとはしない」と、預言者は言います。

主に従わない者は靈的な感性がマヒしてしまい、だんだんと的外れな安心感を持つようになります。そうならないように、主に効いて実行しましょう。従っていないのに安心するような愚かな者にはならないようにしましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちなど）

②どんな思いになりましたか？（気持や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



1日 土曜

エゼキエル



を聞け。

34:10 【神】である主はこう言う。わたしは牧者たちを敵とし、彼らの手からわたしの羊を取り返し、彼らに羊を飼うのをやめさせる。もはや牧者たちが自分自身を養うことはなくなる。わたしは彼らの口からわたしの羊を救い出し、彼らの餌食にさせない。』」

ここでの牧者とはユダ王国の終末期の4人の王のことですが、新約においては人を導くクリスチャンと考えられても良いでしょう。牧師であり、リーダーであり、役員であり、スポンサーであり、クリスチャンの親であり、先輩のクリスチャンです。

ここにあるような使命を全うしているでしょうか。「弱った羊を強めず、病気のを癒やさず、傷ついたものを介抱せず、追いやられたものを連れ戻さず、失われたものを捜さず…」と、主から言われぬように、これらのことごとを心を込めて行いましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（気持や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

34:1 次のような【主】のことが私にあった。

34:2 「人の子よ、イスラエルの牧者たちに向かって預言せよ。預言して、牧者である彼らに言え。『【神】である主はこう言われる。わざわざだ。自分を養っているイスラエルの牧者たち。牧者が養わなければならないのは羊ではないか。』

34:3 あなたがたは脂肪を食べ、羊の毛を身にまとい、肥えた羊を屠るが、羊は養わない。

34:4 弱った羊を強めず、病気のを癒やさず、傷ついたものを介抱せず、追いやられたものを連れ戻さず、失われたものを捜さず、かえって力づくで、しかも過酷な仕方彼らを支配した。

34:5 彼らは牧者がいないので散らされ、あらゆる野の獣の餌食となった。こうして彼らは散らされた。

34:6 わたしの羊はすべての山々、すべての高い丘をさまよった。わたしの羊は地の全面に散らされ、尋ね求める者もなく、捜す者もない。

34:7 それゆえ、牧者たちよ、【主】のことがを聞け。

34:8 わたしは生きている——【神】である主のことば——。わたしの羊はかすめ奪われ、牧者がいないために、あらゆる野の獣の餌食となってきた。それなのに、わたしの牧者たちはわたしの羊を捜し求めず、かえって自分自身を養って、わたしの羊を養ってこなかった。

34:9 それゆえ、牧者たちよ、【主】のことば



2日 日曜

エゼキエル



34:11 まことに、【神】である主はこう言われる。「見よ。わたしは自分でわたしの羊の群れを捜し求め、これを捜し出す。

34:12 牧者が、散らされた羊の群れのただ中にいるときに、その群れの羊を確かめるように、わたしはわたしの羊を確かめ、雲と暗黒の日に散らされたすべての場所から彼らを救い出す。

34:13 わたしは諸国の民の中から彼らを導き出し、国々から彼らを集め、彼らの地に連れて行き、イスラエルの山々や谷川のほとり、またその地のすべての居住地で彼らを養う。

34:14 わたしは良い牧草地で彼らを養い、イスラエルの高い山々が彼らの牧場となる。彼らはその良い牧場に伏し、イスラエルの山々の肥えた牧草地で養われる。

34:15 わたしがわたしの羊を飼い、わたしが彼らを憩わせる——【神】である主のことば

34:16 わたしは失われたものを捜し、追いやられたものを連れ戻し、傷ついたものを介抱し、病気のものを力づける。肥えたものと強いものは根絶やしにする。わたしは正しいさばきをもって彼らを養う。

34:17 わたしの群れよ。あなたがたについて、【神】である主はこう言う。見よ、わたしは羊と羊、雄羊と雄やぎの間をさばく。

34:18 あなたがたは良い牧草地で草を食べていながら、それでも足りないのか。その牧草地の残りを足で踏み荒らすとは。澄んだ水を飲みながら、その残りを足で濁すとは。

34:19 わたしの群れは、あなたがたの足が踏み荒らした草を食べ、あなたがたの足が濁し

た水を飲んでいる。」

34:20 それゆえ、【神】である主は彼らにこう言われる。「見よ、わたし自身が、肥えた羊と痩せた羊との間をさばく。

34:21 あなたがたが脇腹と肩で押しのけ、その角ですべての弱いものを突き倒し、ついに彼らを外に追い散らしてしまったので、
34:22 わたしはわたしの群れを救い、彼らが再び餌食とならないようにする。そして、わたしは羊と羊の間をさばく。

34:23 わたしは、彼らを牧する一人の牧者、わたしのしもべダビデを起こす。彼は彼らを養い、その牧者となる。

34:24 【主】であるわたしが彼らの神となり、わたしのしもべダビデが彼らのただ中で君主となる。わたしは【主】である。わたしが語る。

11 節からは神様が真の牧者であることが書かれていますが、私たちは大牧者であるイエス様から羊を託されているのです。イエス様の愛で飼われつつ、その愛で人の成長のための世話をしましょう。

羊とは神の民ですが、その中で争いがあることにより、神様は「さばく」と言われます。クリスチャンの間でも争いや不仲がないとは限りませんが、それは神様にさばかれることを知っておきましょう。他の羊を追い出すようなことにならないために、愛と心配りで主の御心を実現しましょう。

「ダビデを起こす」と神様は言われますが、彼はすでに過去の人ですから、ダビデのような霊的牧者を起こすということで、これはイエス様のことです。イエス様に信頼し、頼りきって従いましょう。それが羊としての安全です。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（気持や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

